

# コヨット! 通信 No.19

2018年1月31日発行

1月号

日本生協連  
組合員活動部

1月初回のコヨット!は恒例の餅つきです。  
お正月にたくさん食べたはずなのに、つきたての餅はおいしいのです。  
山形では定番のあんこ、きな粉、納豆に加え、ただの醤油で  
食べたところ「おいしい〜!!」が連発。大好評でした。  
餅の力で今年も元気に暮らすことができそうです。



## 福島、山形2つのコースで雪遊び&お餅つき~1/20-21 ほなり、いちらく~

### リゾート・イン・ほなり

1/20-21は2つのコースの同時企画でした。

リゾート・イン・ほなりのコースには、11家族子ども21名が参加しました。しばらく気温が高かったのでそり遊びの雪質が心配でしたが、表面が程よい固さで滑りには絶好。初めてのそり遊びに一人で果敢に挑戦する子、親子で二人、三人乗りをする家族、雪の感触を楽しむ姿が見られました。



みんなで1時間ほど遊びましたが、よほど楽しかったらしく、小さな女の子が「もっと遊びたい…」と涙ぐんでいました。



二日目は杵と臼を使って“餅つき”を体験しました。最初、お父さんとお母さんにお手伝いをしてもらい、その後子どもたちも順番に餅つきを行いました。つきたての餅は、あんこ、きな粉、納豆、汁もちにしてお腹いっぱい食べました。

#### 【参加者アンケートから】

「空間線量が低くなって以前と同じような生活していますが、米や野菜等は西のものを使っています。水も買っています。今回、何も気にせず家族で楽しむことができました。雪の感触、冷たさも子どもたちには新鮮だったようです。」「主人が単身赴任で、一人では子連れで遠出できないので、本当にこういう機会がありがたいです。ありがとうございました。」



## 天童市山形県総合運動公園／生協共立社すずかわセンター

7家族子ども14名が参加しました。一日目は雪遊び。小学生も多かったことから、共立社スタッフのみなさんに幼児向けと2つのそり遊びコースを準備していただきました。晴天の中、十分に体を動かしてお腹もぺこぺこ。夕食をきれいに食べていました。二日目は、こちらと同じく杵と臼を



使った餅つきです。毎年、地元JAの方たちが福島の子どものために準備をしてくれています。今年は、お正月らしく参加者のお父さんたちに法被と豆絞りを貸していただき“本格的”な餅つきになりました。あんこ、きな粉、納豆と醤油餅にさせていただきました。

### 【参加者アンケートから】

「毎日の生活で放射能に神経質になってはいませんが、子どもの成長にどのような影響があるのかビクビクして生活をしていますので、このような保養はとてもありがたいです。」



## ときどき体験ツアーin いばらき ~12/16-17 ひたち海浜公園、干し芋づくり~



いばらきコープ主催の体験ツアーに8家族小学生17名が参加しました。一日目は、ネモヒラやコキアでおなじみになった国営ひたち海浜公園に行きました。遊園地やサイクリングで家族ごとに遊びました。

二日目は、常陸太田市のJA直売所で「干し芋づくり」体験をしました。協同組合ネットいばらきとの関係で直売所にて実施することが実現しました。工程の説明の後、蒸した紅はるかを丁寧に剥きます。この丁寧さがおいしい干し芋づくりの大切なところ  
です。剥いた芋をかごに干して、家へ持ち帰り4日ほど乾燥させて出来上がりです。おいしい干し芋ができたかなあ…!



丁寧に剥くのがコツ



## 「ほっこりママ会 心のケア」~1/24 福島市 ホテル福島グリーンパレス~

8名のお母さんたちが参加しました。日本プレイセラピー協会本田涼子先生から、セルフケアを実際にどう行うのかについて体験しながら学びました。お母さんたちの悩みを聞く個別相談も行いました。

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部  
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉、小池